

## 2. 評価結果（詳細）

主任調査員 石松 成子 調査員 中村 朋美

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初より、地域との絆を大切にし、住み慣れた地域で、自分らしく暮らせることを支える介護をめざした理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、ミーティング等で理念について確認し、常に理念を意識しながら、毎日のケアに取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、生き生きサロンへの参加や育成会とのグランドゴルフ・サツマイモの植付け等の活動を通して、交流に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の結果を踏まえ、ケアの質の向上に努力している。評価の意義を理解し、自己評価は職員全員で取り組み、改善に向けて具体的に活かそうという姿勢がある。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町職員と相談し、民生委員や児童委員などに積極的に幅広く参加を呼びかけた。入居者やサービスの実践について率直な意見を引き出し、ひとつひとつの意見をサービスの向上に活かすよう努めている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町職員に、ホームの実情やサービスの課題について相談、報告を行っており、関係づくりを積極的に行っている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時には入居者の様子を話すようにし、受診結果はその都度行い、金銭出納帳のコピーは請求書送付時に同封している。3ヶ月毎に生活記録を送付し、詳しく入居者の様子を報告している。ホーム便りは行事の様子などの写真を掲載し年2回発行している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情相談窓口を明記し、又、年3回の交流会等で家族からの意見や要望を聞く機会を設けている。運営推進会議や担当者会議にも家族に参加してもらい意見を聞くよう努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	系列のホームとの職員の交流を研修のために実施しているが、入居者や家族には説明し、理解してもらっている。入居者についての説明を行い、慣れるまでは管理者や主任が指導し、入居者へ配慮している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修に付いては、受ける機会を確保し、研修後は報告書を作成し他の職員に報告している。系列ホーム間の相互長期研修を実施し、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会の研修に参加し、同業者と交流する機会を持ち、相互に意見交換をする等連携を図り、質の向上に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に本人・家族にホームの見学を勧め、お茶の時間など利用し、馴染んでもらうよう工夫している。入居希望時は、数回ホームに来て過ごしてもらっている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	馴れない職員には、仕事の段取りなど教えたり、昔の話などしてくれる。また、夜勤の時などいたわりの言葉をかけ励ましてくれるなど支えあう関係ができている。		
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントや生活記録に、入居者の言葉で日頃の様子を記入しており、思いや意向は把握出来ている。面会時や担当者会議で、家族を通して入居者の思いを把握するよう努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者会議では、主治医の意見、家族や職員の意見を聞き、チームで話し合っって介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書に沿って3ヶ月ごとに見直しを行っている。状態変化があった場合や本人・家族の要望に応じ、随時チームで話し合い見直しを行っている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしてい る	医療連携体制を活かし、主治医の往診による指 示のもと、本人・家族の要望に応じて支援を行 なった。通院介助も家族が対応できない場合は 支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得ら れたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、 適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望するかかりつけ医に訪問診療 をしてもらっている。通院が必要な時は家族と 相談し、通院介助を行い、適切な医療を受けら れるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、で きるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかか りつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共 有している	入居時に医療連携体制について説明し、終末期 の対応について本人、家族に意見を聞いている。 状態変化があるときに、繰り返し主治医や 家族と看護師を交えて話し合って対応してい る。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるよう な言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱い をしていない	管理者・職員は一人ひとりの誇りを尊重し、プ ライバシーを確保することの重要性を理解し、 優しく思いやりを持って介護を行っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れは決めてあるが、入居者の 状態や希望に応じて、入浴や食事など一人ひと りに応じた対応を心掛けている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえや盛り付けなど出来る事はしてもらい、職員も一緒に食事をしている。入居者の希望を取り入れたメニューや、雰囲気を変えてあづま屋で楽しく昼食を摂る事もある。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	温泉で、希望があればいつでも入浴できる。入浴拒否の入居者には、タイミングを合わせ、職員との会話などでゆっくり、楽しく入浴してもらっている。状況によっては清拭や部分浴も支援している。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜の収穫や食事の片付けなど役割を持ってもらい、感謝の言葉を伝え、張り合いにつなげるよう努めている。歌や風船バレーなど入居者に合ったレクリエーションを計画し、笑顔や喜びのある生活を支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	敷地内に芝生の広場があり、菜園もあり、気軽に散歩をしている。買い物にも同行したり、隣接の老健施設に出かけて行く入居者もいる。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵を掛けないケアの重要性を認識しており、入居者の行動パターンを把握し、入居者の様子や言動を見守りながら、雰囲気を感じたら少し散歩するなど支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を行っている。今後は夜間想定避難訓練を行う予定である。地域の民生委員にも地域の方の協力が必要であることをお願いしている。	○	隣接する老人保健施設の職員や地域住民と一緒に行われる避難訓練への取り組みに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	系列施設の栄養士から助言をもらって、栄養バランスに配慮している。残食量や水分摂取量は毎日チェックしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所と居室の中央にホールがあり、安心感のある場所になっている。ホームの所々に季節の花が飾ってあり、テレビの音や日ざしにも配慮している。玄関入り口の花壇を見ながらベンチでくつろげる空間がある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳の部屋とフローリングの部屋が有り、入居者の状況に配慮している。家族の協力で、自宅から使い慣れた布団や椅子、鉢植えを持ち込み、家族の写真など飾り居心地良く過ごせる工夫がある。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。